



愛西市総合斎苑

総合斎苑の利便性向上を目指せ



議員 鷺野 聡明

質問

昨年9月の総合斎苑利用開始以来、多くの市民から運用

改善の意見や要望、苦情が寄せられた。セレモニーホールと待合室、初七日法要

の利用状況について、実情はどうか。低い利用率の原因と対策は。市民の声、葬儀会社の声、仏教会の声をどのように受けとめているのか。初七日（待合室）の利用を午後5時までに終了しなければならぬ特別な理由は。

市民生活部長

昨年9月から今年の2月までの式場の利用数は49件。待合室での、初七日法要の利用件数は36件。

告別式の時間が昼前後の2パターンに固定されている、初七日が1時間以内と制限があるなど、利用者、葬祭業者、お寺関係者から声も聞いている。今回、時間枠や選択肢の幅を広げ、システムを改修した。

施設の利用時間は、愛西市総合斎苑の「管理及び運営に関する規則」の中で午後5時までと定めているからだ。

質問

さらに市民の声を十分聞いて、何時にやっても初七日が愛西市総合斎苑で対応できるようにぜひ見直しを。

市民生活部長

機会をとらえ、また、施設内に意見箱を設置しているの声を聞いていきたい。

東日本大震災後の防災対策進捗は

質問

防災対策の進捗と中期計画は。

市の防災マップには53カ所の避難場所が設定されているが、大地震や水害には大丈夫か。市民に避難所床面の海拔を調査・開示すべきと思うが。

新たな民間避難ビル追加指定の進捗は。

総務部長

大きな防災対策として、24年度から3年間で同報無線整備を図っていきたい。

市内には低い地区もあるのに、ハザードマップに示してあるように一部浸水する箇所もある。小中学校施設、防災コミュニケーションセンターについても建物補強工事については対応ができています。

ゼロメートル標示の関係では、53カ所の避難所も含めて24年度は100カ所、実施をして

いきたい。

民間避難所ビルの指定は現在2つの施設。ひまわり会館と名古屋光商事。今後の協定予定は6社、佐川急便、フジテック、シーキューブ、垣見鉄工、カネイ、青山不動産。

質問

大震災に本気の備えと訓練を。

総務部長

昨日、消防署も含む全職員に非常参集訓練を実施した。問題点も今回新たに出てきたが、現在調整をしている。より実践的な訓練を今後続けたい。

その他の質問

- 安全なまちづくりの推進を
- あいさいスポーツクラブの誕生について